

安全運転管理者等選任事業所の交通事故発生状況（物件事故除く）

- 1 本資料は、千葉県内で発生した安全運転管理者選任事業所、又は運転代行業（以下「安管事業所」といいます。）の従業員が業務中又は通勤中に関係した人身事故を抽出・分析したものです。物件事故（人の死傷を伴わない事故）の数値は含まれていません。
- 2 本資料には、他県の安管事業所の従業員が起こした事故の数値が含まれていますが、本県の安管事業所の従業員が他県で起こした事故の数値は含まれていません。

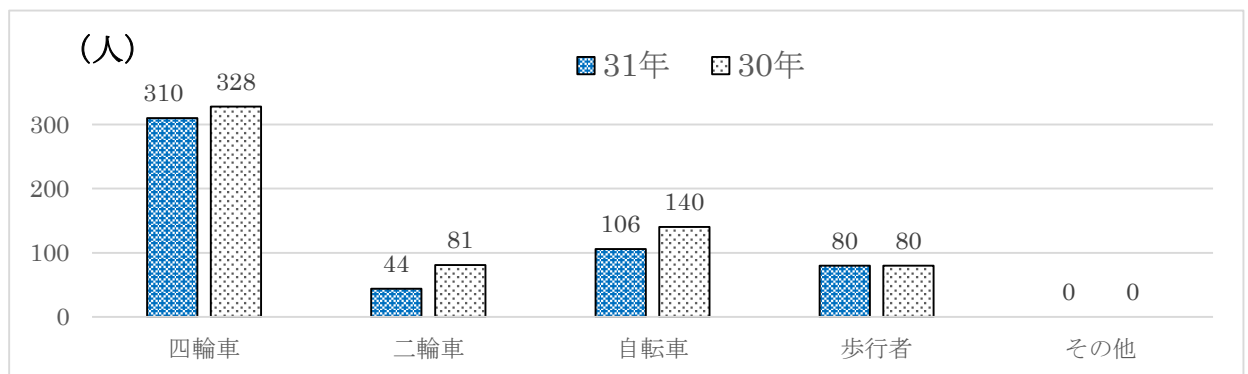
1 県内の発生状況（平成31年4月末現在）

	4月中				累 計				
	31年	30年	増減数	増減率	31年	30年	増減数	増減率	
発生件数	117	133	-16	-12.0	449	537	-88	-16.4	
昼	日の出1時間後	2	5	-3	-60.0	33	49	-16	-32.7
	その他昼	76	92	-16	-17.4	253	309	-56	-18.1
	日の入1時間前	6	11	-5	-45.5	28	29	-1	-3.4
	昼計	84	108	-24	-22.2	314	387	-73	-18.9
夜	日の入1時間後	12	5	7	140.0	49	51	-2	-3.9
	その他夜	20	19	1	5.3	74	86	-12	-14.0
	日の出1時間前	1	1	0	0.0	12	13	-1	-7.7
	夜計	33	25	8	32.0	135	150	-15	-10.0
死者数	3	1	2	200.0	8	7	1	14.3	
負傷者数	137	160	-23	-14.4	532	622	-90	-14.5	
重傷者数	8	12	-4	-33.3	32	52	-20	-38.5	
軽傷者数	129	148	-19	-12.8	500	570	-70	-12.3	

○ 概略

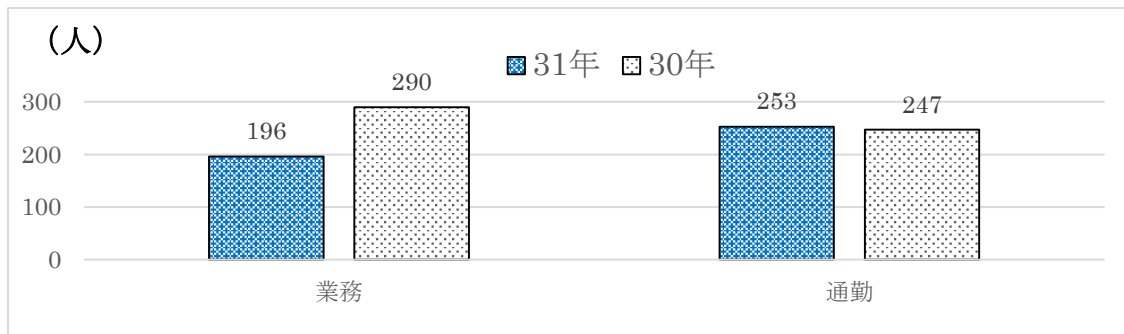
4月末現在における安管選任事業所従業員に係る交通事故は、前年同期に比べ発生件数と死傷者数はともに減少しましたが、死亡事故は、昨年の同期に比べ1件増加しており、死者数が前年の3倍以上となった昨年を上回る厳しい状況が続いています。また、死亡事故8件中6件が高齢者被害に係る事故であることから、本年も引き続き高齢者に対する思いやり運転に心がけてください。

2 死傷者の状態別



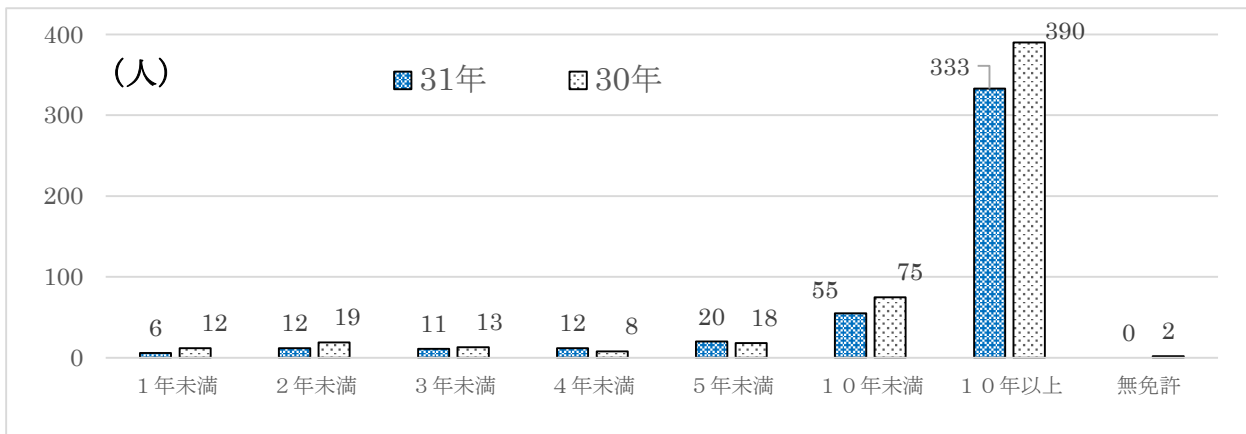
- 死傷者の状態別では、四輪車乗車中が最も多く310人（57.4%、前年比-18人）、次いで自転車乗車中が106人（19.6%、前年比-34人）となっています。

3 第1当事者の運行目的



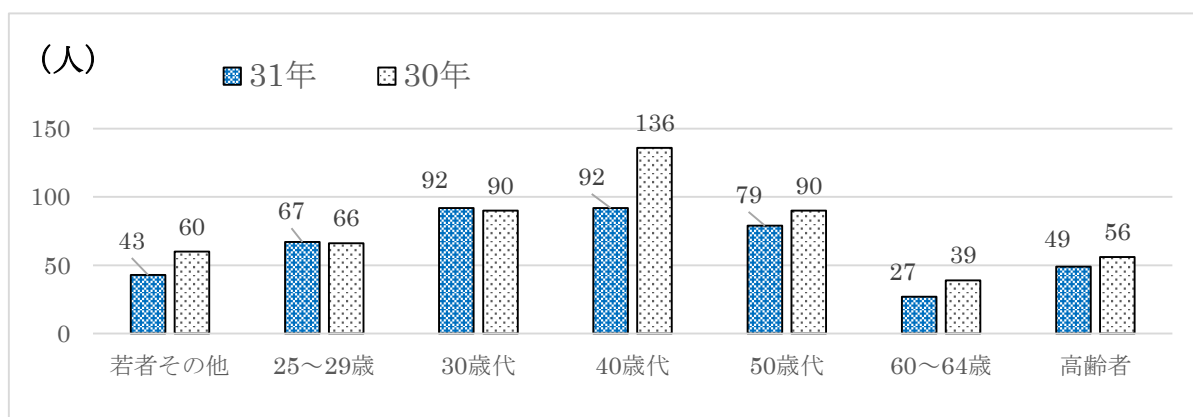
- 第1当事者の運行目的は、業務中が196人（43.7%、前年比-94人）と大幅に減少した結果、通勤途中が253人（56.3%、同+6人）と本年はその比率が逆転しています。通勤中の事故を防止するため、見通しの悪い交差点が多い裏通りは避けるなど、通勤経路の見直しを推進して下さい。

4 第1当事者の免許経験年数



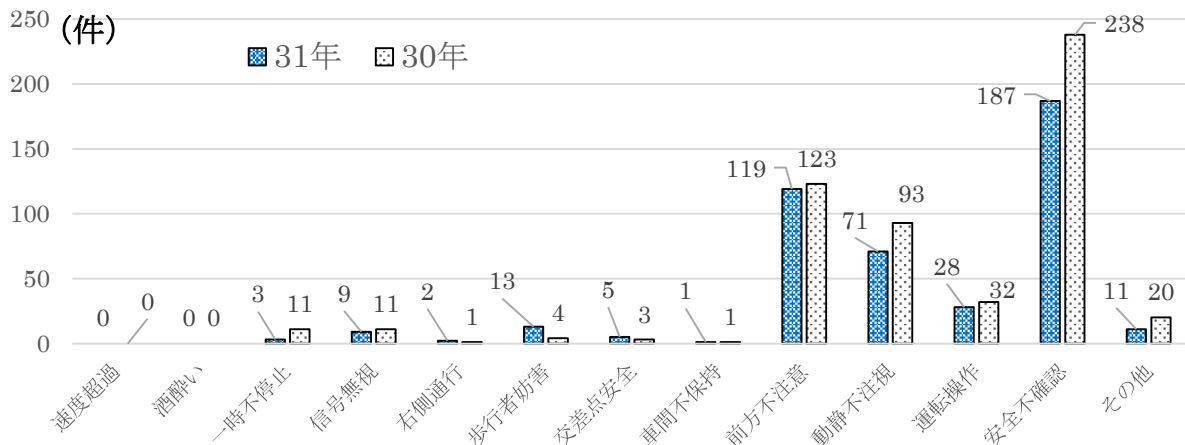
- 第1当事者の免許取得経過年数別では、経過年数10年以上の者が333人（74.2%、前年比-57人）と最も多く、次いで5年以上10年未満の者が55人（12.3%、同-20人）でした。1年未満から5年未満の者の合計は61人（13.6%、同-9人）でした。運転経験の少ない従業員に対する安全教育はもとより、ベテラン従業員に対してもきめ細かい安全教育が必要です。

5 第1当事者の年齢層



- 安管事業所に係る交通事故の総数は前年に比べ16.4%減少していますが、25~29歳と30歳代が第1当事者となった事故は、むしろ増加しています。また、第1当事者となった65歳以上の高齢者は49人（10.9%、前年比-7人）となっています。高齢者を雇用している事業所は比較的少ない状況の中、高齢者が第1当事者になる比率は高いと言えます。

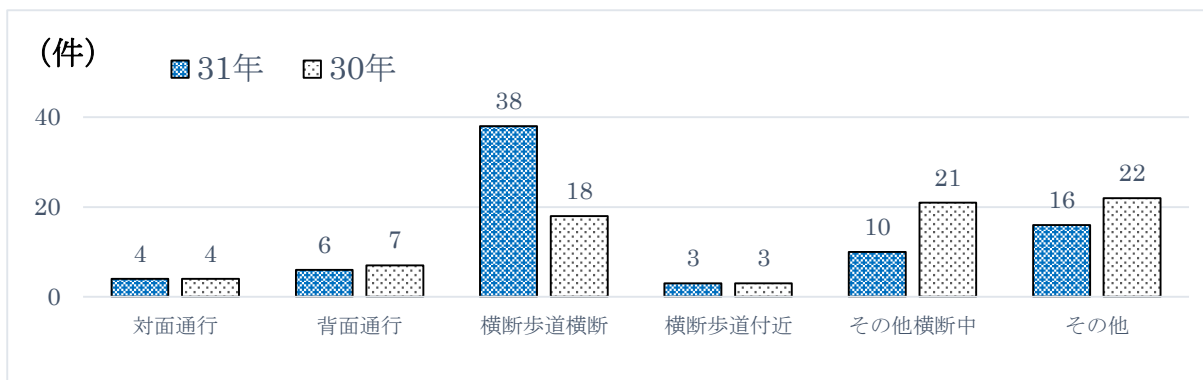
6 第1当事者の違反・原因別



○ 事故原因は、前方不注意、動静不注意、運転操作不適、安全不確認などの安全運転義務違反が計405件で事故原因の90.2%を占めています。

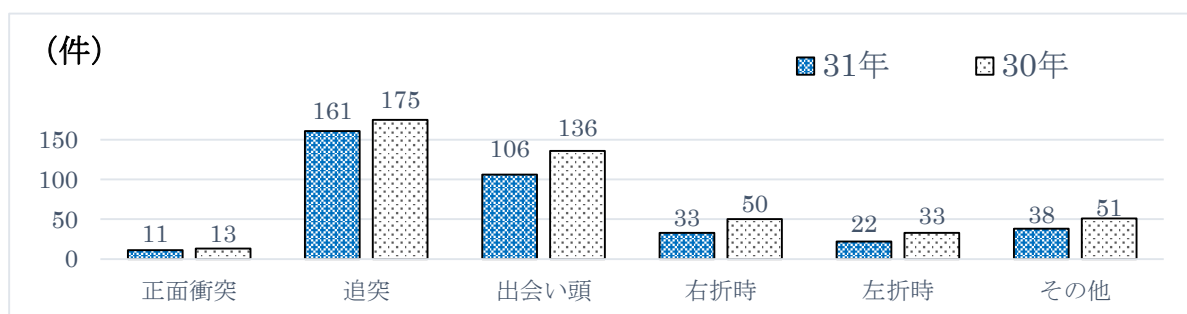
7 事故類型

(1) 人対車両 (計77件)



○ 横断歩道横断中の事故が38件、+20件と著しく増加しています。また、横断中（横断歩道及びその付近、その他横断中）の事故は計51件で、人対車両の事故の66.2%を占めています。人対車両の事故は重傷事故に発展する可能性が高いので、特に横断歩道における歩行者優先を徹底して下さい。

(2) 車両相互 (計371件)



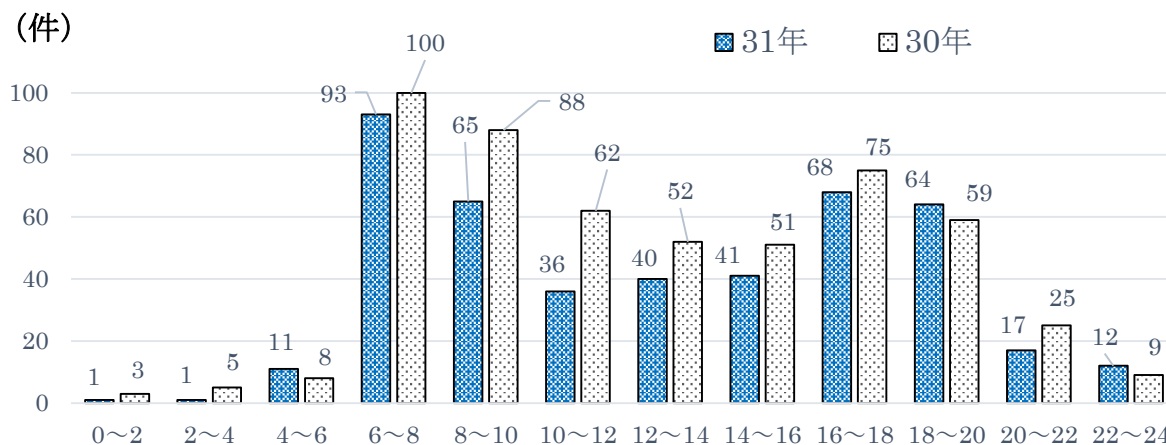
○ 追突の161件（35.9%、前年比-14件）が最も多く、事故類型の3分の1以上を占めています。次に多いのが出会い頭の106件（23.6%、同-30件）です。出会い頭事故は重大事故に発展する可能性が高いので注意して下さい。

(3) 車両単独 (1件)



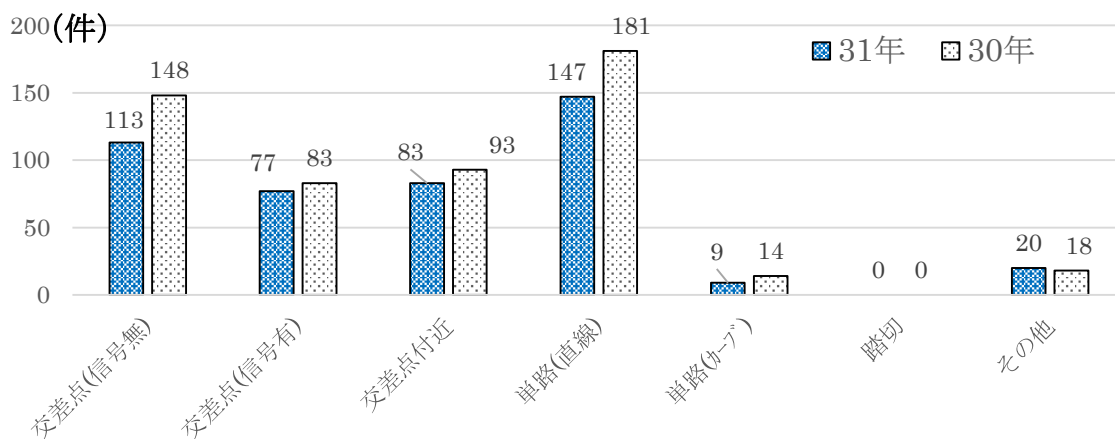
○ 車両単独事故は1件（前年比-3件）でした。

8 時間帯別



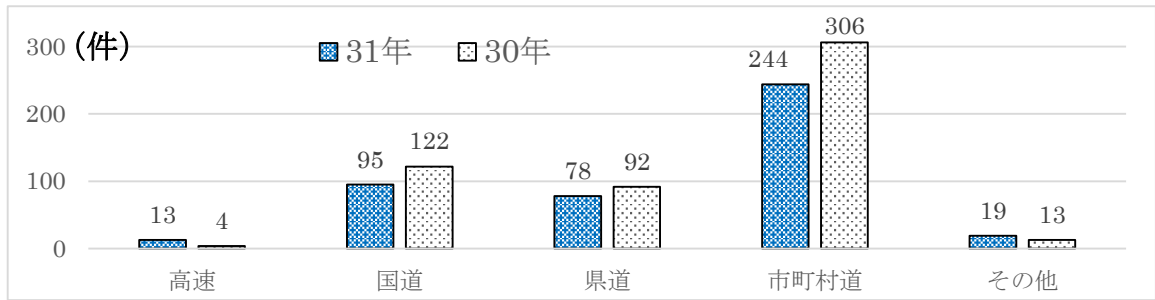
○ 時間帯別で最も多いのは、6時から8時までの93件（20.7%、前年比-7件）でした。次いで多く発生したのは16時から18時までの68件（15.1%同一-7件）でした。6時から10時までの時間帯に158件、35.2%の事故が発生しています。時間的な余裕を持った出勤や出発に心掛けて下さい。

9 道路形状別



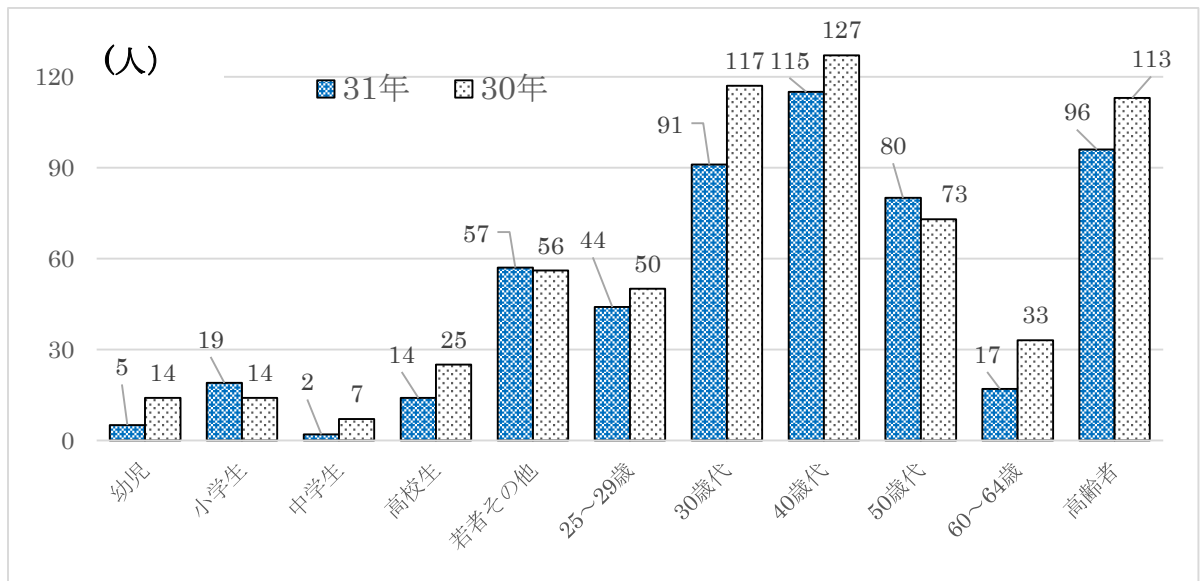
○ 道路形状別では、交差点及び交差点付近の事故が合わせて273件（60.8%、前年比-51件）でした。単路（直線）の事故は147件（32.7%、同一-34件）と双方とも減少しました。

10 道路別



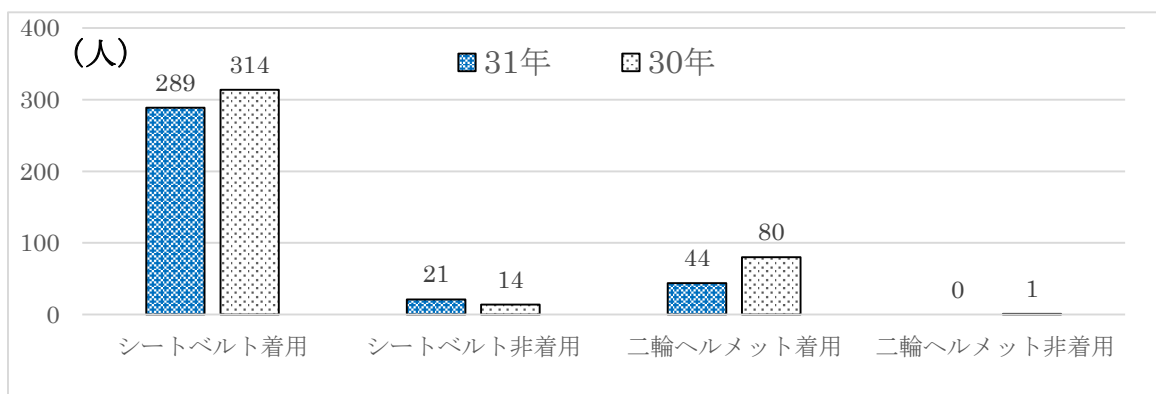
- 道路別では、市町村道が最も多く244件(54.3%、前年比-62件)、次いで国道が95件(21.2%、同-27件)、県道が78件(17.4%、同-14件)でした。

11 死傷者の年齢層別



- 死傷者の年齢層で多かったのは、40歳代の115人(21.3%、前年比-12人)、次いで昨年の3位から上昇した高齢者の96人(17.8%、同-17人)となっています。

12 シートベルト・ヘルメット着用状況



- 四輪車の死傷者の内、シートベルトを着用していたのは289人(93.2%)、非着用は21人(6.8%)でした。二輪車の死傷者の内、ヘルメットを着用していたのは44人(100%)、非着用の者はいませんでした。